

# 休日当番医など (7月1日～8月15日)

地域医療課 ☎27-8572

## 休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

7月3日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	中山クリニック	小名浜西町	73-1112
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	根本内科胃腸科医院	常磐湯本町	43-4100
10日(日)	おざかクリニック	泉滝尻	56-8777
	矢吹病院	佐糠町	63-1818
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
17日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	中村病院	小名浜大原	53-3141
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
18日(月)	本町通りクリニック	平四町目	24-7830
	須田医院	小島町	27-6060
	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	さいとう内科クリニック	佐糠町	77-1001
24日(日)	いわき草木台総合クリニック	草木台	28-1145
	中央台たなか眼科	中央台高久	29-1722
	中山医院	中之作	55-8141
	榎田病院	植田町	63-3202
31日(日)	比佐医院	常磐湯本町	43-2313
	石井脳神経外科・眼科病院	小名浜林城	58-3121
	なこそ病院	勿来町	65-7755
	かとう内科クリニック	常磐西郷町	72-0072
8月7日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	クリニック阿部	泉町	85-5801
	榎田病院	植田町	63-3202
	さかもと内科胃腸科クリニック	常磐関船町	72-2022
11日(木)	まつはし内科クリニック	平上荒川	68-8031
	磐城中央病院	小名浜南富岡	53-3511
	花田内科クリニック	錦町	62-5000
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
14日(日)	中村病院	小名浜大原	53-3141
	なこそ病院	勿来町	65-7755
8月15日(日)	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188

## 日曜 小児専門当番医 9時～12時

7月	3日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	10日	おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001
	24日	こどもクリニックすずき	泉町	56-6336
	31日	むらまつ小児科	常磐関船町	72-0707
8月	7日	福田小児科医院	平下荒川	22-4272

※この他にも休日診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時～翌朝8時

県夜間救急電話相談 ☎024-524-3020または#7799 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時～翌朝8時

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関または消防テレホンガイド(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

## 休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

**【内科】**  
須田医院 (小島町) 8時30分～12時 ☎27-6060  
7月 10日、24日、31日

ニュータウン腎・内科クリニック (中央台高久) 9時～12時 ☎46-0606  
8月 15日

**【皮膚科】**  
金生皮膚科医院 (平三倉) ☎22-2378  
13時30分～17時15分 8月 11日  
8時30分～11時45分 8月 13日

**【泌尿器科】**  
常磐病院 (常磐上湯長谷町) 9時～15時 ☎81-5522  
7月 3日、10日、18日、24日、31日  
8月 7日、13日・14日・15日

**【婦人科】**  
月川レディースクリニック (平童子町) 9時～12時30分 ☎35-3511  
7月 3日、17日 8月 7日

**【眼科】**  
中央台たなか眼科 (中央台高久) 9時～14時 ☎29-1722  
7月 3日、10日、17日、31日  
8月 7日

西山眼科医院 (四倉町) 8時30分～12時 ☎32-3722  
8月 13日

**休日夜間急病診療所【内科・小児科】**  
総合保健福祉センター隣 ☎27-1208  
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時  
日曜日：14時～18時、19時～23時  
祝日、8月13日・14日・15日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

**休日救急歯科診療所**  
総合保健福祉センター内 ☎27-8620  
日曜日、祝日、8月13日・14日・15日：9時～12時、13時～16時 (受付終了時間15時30分)

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハムニ」は診察はまじょう

●救急車は適正に利用しまじょう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

市民の

# 健康教室



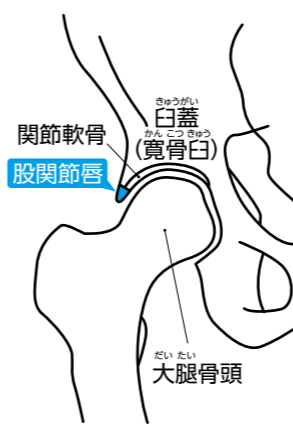
提供・問い合わせ  
(一社)いわき市医師会  
☎38-4201

## 股関節唇損傷

慢性的な股関節痛の原因の一つに股関節唇損傷があります。股関節唇とは、骨盤側のへこみ(臼蓋)を縁取る線維軟骨のことです。ここを損傷すると、深くしゃがんだり長時間座ったりするなどで、股関節を深く曲げる動作で強い痛みや引っかかり感が出現します。原因は、股関節の形態異常によって生じる大腿骨と臼蓋縁の衝突による軟骨損傷と考えられており、日常的な股関節の可動範囲内でも損傷することがあります。診断には、股関節を曲げたり回したりする疼痛誘発テスト、股関節内に局所麻酔薬を注入する疼痛減弱テスト、股関節造影およびCT、MRIなどが用いられます。治療には、安静にするほか消炎鎮痛剤などの投薬、股関節腔内ステロイドの注入、関節拘縮予防のための運動やストレッチ、股関節周囲や体幹の筋力強化トレーニングなどがあります。

原因は、股関節の形態異常によって生じる大腿骨と臼蓋縁の衝突による軟骨損傷と考えられており、日常的な股関節の可動範囲内でも損傷することがあります。診断には、股関節を曲げたり回したりする疼痛誘発テスト、股関節内に局所麻酔薬を注入する疼痛減弱テスト、股関節造影およびCT、MRIなどが用いられます。治療には、安静にするほか消炎鎮痛剤などの投薬、股関節腔内ステロイドの注入、関節拘縮予防のための運動やストレッチ、股関節周囲や体幹の筋力強化トレーニングなどがあります。

グなどのリハビリが行われます。難治例には手術が行われますが、形態異常の有無や部位により手術法が異なり、関節唇断裂には関節鏡視下に関節唇部分切除術や縫合術、形態異常には各種骨切り術や形成術が行われることもあります。比較的病名が知られるようになつた今でも、腰椎疾患や心因性疾患と診断され長期間苦痛にさらされる場合があります。病院を受診する際には、あらかじめ症状を十分把握し正確に伝えることが重要です。



## 泌尿器科医療録④

**過活動ぼうこう**  
過活動ぼうこうとは、ぼうこうが過敏になって、尿が十分にたまっていなくても、意思とは関係なくぼうこうが収縮する状態です。その結果、急に尿意を催したり(尿意切迫感)、何度もトイレに行きたくなったり(頻尿)、尿漏れ(切迫性尿失禁)が起きたりします。過活動ぼうこうの原因はよく分かっています。年齢とともに増加しますが、過活動ぼうこうの診断には、尿意切迫感、頻尿、切迫性尿失禁の3つの症状を確認します。過活動ぼうこうスコアといわれる重症度を評価するための質問票が、診断に用いられています。

治療は、ぼうこう収縮を抑制する薬物療法が中心です。ぼうこう訓練も有効です。また、ボツリヌス毒素をぼうこうに注入したり、電気刺激を用いたりする治療法もあります。また、過活動ぼうこうと思われる症状であっても、結石やぼうこうなど手術が必要な病気の場合もあります。一度、泌尿器科で診察を受けることをお勧めします。

## けんこうQ&A

**Q 過活動ぼうこうとは、ぼうこうが過敏になって、尿が十分にたまっていなくても、意思とは関係なくぼうこうが収縮する状態です。その結果、急に尿意を催したり(尿意切迫感)、何度もトイレに行きたくなったり(頻尿)、尿漏れ(切迫性尿失禁)が起きたりします。過活動ぼうこうの原因はよく分かっています。年齢とともに増加しますが、過活動ぼうこうの診断には、尿意切迫感、頻尿、切迫性尿失禁の3つの症状を確認します。過活動ぼうこうスコアといわれる重症度を評価するための質問票が、診断に用いられています。**

**Q 治療は、ぼうこう収縮を抑制する薬物療法が中心です。ぼうこう訓練も有効です。また、ボツリヌス毒素をぼうこうに注入したり、電気刺激を用いたりする治療法もあります。また、過活動ぼうこうと思われる症状であっても、結石やぼうこうなど手術が必要な病気の場合もあります。一度、泌尿器科で診察を受けることをお勧めします。**

## 脳神経外科④

**内視鏡で手術「脳出血」**  
Q 脳出血とはどんな病気ですか?  
A 脳の細い動脈が破れて出血し、固まって脳の中に血の塊(血腫)ができる病気です。突然の頭痛や嘔吐、半身まひや意識障害などが起こります。

Q 何が原因ですか?  
A 高血圧が主な原因です。過度の飲酒もよくありません。

Q 治療はどうするのですか?  
A まず血圧を下げて、出血が増えないようにします。血腫量が多い時には、手術で血腫を除去します。

Q どのような手術ですか?  
A 以前は、ある程度の大きさの頭蓋骨を切り外し、顕微鏡下で血腫を除去してました。最近では、頭蓋骨に直径15ミリメートルほどの小さな穴を開け、内視鏡を使って血腫を除去します。手術による患者さんの負担はかなり軽くなりました。

Q まひなどの症状は治りますか?  
A 脳出血で壊れた脳は元に戻りませんが、リハビリで回復しますが、まひなどの後遺症が残ります。高血圧をしつかり治療して、脳出血にならないよう予防することが大切です。

休日当番医など